

授業科目名	教育と社会	教員名	橋口 泰宜	免許・資格との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授業形態	講義	担当形態	単独	卒業要件	保育士	選択必修
科目番号	JIN107	配当年次	1年次前期		こども音楽療育士	
単位数	2単位			小幼コース	選択	
科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等						
科目	教養科目（保育士）					
系 列						
一般目標	<p>今日の「社会と教育」に関連する国内外の諸問題について、現状及び課題を認識し、その解決策を考察できる能力の習得を目指すことを全体目標としている。</p> <p>2017年3月告示の次期学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程の実現」や「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」理念の共有が提唱されているように、「教育と社会」についての理解は、これからの学校づくりに必須である。本講義では、日常の身近で具体的な事例に注目して、「教育と社会」をめぐる今日の問題状況と課題について理解することを目標としている。同時に、教職課程の諸科目のうち、「教職概論」（教職の意義及び教員の使命等）並びに「教育制度論」（教育の社会的、制度的及び経営的事項）の理解に必要な基礎的・基本的知識の習得に資することを意図としている。</p>					
到達目標	<p>以下の諸点を理解し、かつ、家庭・学校・社会・国家の関係について理解することを到達目標としている。</p> <p>(1) 児童生徒の変化と学校の課題</p> <p>(2) 学校における安全・安心、児童生徒の人権教育、学力向上等の取り組み。</p> <p>(3) 教員をめぐる状況と課題。</p> <p>(4) 経済と教育、憲法と教育との関係。</p> <p>(5) 家庭・学校・社会・国家の関係を理解している。</p>					
授業の概要	<p>講義では、次の点に留意した概要の授業を行う。</p> <p>1. 「教育と社会」に係る諸問題の現状と課題及びその解決能力の育成に資する内容の取扱い。</p> <p>2. 国の教育振興基本計画及び中央教育審議会答申並びに学習指導要領の理解に資する内容。</p> <p>3. 宮崎県教育振興基本計画の理解に資する授業の内容と方法。</p> <p>4. 新聞等の情報の活用</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>					
授業計画	<p>第1回：「教育と社会」についての課題意識の涵養と学習方法等についてのオリエンテーション（目標(1), (2), (3), (4), (5)）</p> <p>第2回：不登校・中途退学・いじめと学校の取り組み（目標(1), (2)）</p> <p>第3回：安全・安心の学校づくり—体育・部活と安全教育（目標(1), (2)）</p> <p>第4回：安全・安心の学校づくり—学校における居場所づくり（目標(1), (2)）</p> <p>第5回：人権教育の推進—子どもの最善の利益及び意見表明権の保障（目標(1), (2)）</p> <p>第6回：人権教育の推進—多様な性とジェンダー教育（目標(1), (2)）</p> <p>第7回：人権教育の推進—児童虐待・体罰防止の取り組み（目標(1), (2)）</p> <p>第8回：学力向上への取り組み—日本における学力格差是正の取り組み（目標(1), (2)）</p> <p>第9回：学力向上への取り組み—海外における学力格差是正の取り組み（目標(1), (2)）</p> <p>第10回：学力向上の取り組み—新しい学習指導要領（目標(1), (2), (5)）</p>					

	<p>第11回：教員をめぐる状況—教員の不祥事と対策の現状（目標(3), (5)）</p> <p>第12回：教員をめぐる状況—教員の勤務実態と働き方改革（目標(3), (5)）</p> <p>第13回：教育と福祉：貧困と子ども食堂（目標(4), (5)）</p> <p>第14回：教育と福祉：教育の機会均等の原理と教育費保障（目標(4), (5)）</p> <p>第15回：まとめ</p> <p>よりよい学校のためのよりよい社会づくりに向けて（目標(1), (2), (3), (4), (5)）</p> <p>※授業形態は講義とするが、講義目標及びアクティブ・ラーニングの達成に向けて、グループでの演習、討議等の対話、プレゼン等も適宜導入する。</p>
学生に対する評価	<p>〈成績評価の基準〉</p> <p>レポート50%（プレゼンテーションを含む）、期末試験50%で総合的な評価を行う。</p> <p>〈成績評価の方法〉</p> <p>上記の総合評価で行う。</p> <p>総合評価が60点以上を合格とする。</p> <p>なお、レポートは授業中あるいはオフィスアワーに返却、また試験については、解答（例）を提示する。</p>
時間外の学習について	<p>（事前・事後学習として週4時間以上行うこと。）</p> <p>事前学習：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞、テレビ等を通して「教育と社会」に関する日常的な出来事を把握しておこう。 ・自分にとっての家庭、学校、社会の存在、自己形成に果たしている三者の役割について自覚を深めよう。 <p>事後学習：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返って次回の講義に備え、友人等との対話を通して意見・情報を交換してみよう。 ・学習内容に喚起された自分認識の深まりや考え方の成長過程を自覚的に把握してみよう。
テキスト	講義資料を授業時に配布する。
参考書・参考資料等	授業中に適宜掲示する。
担当者からのメッセージ	<p>〈履修上の注意事項及び教室外における準備学習などの指示〉</p> <p>上欄の事前・事後学習に努めること。</p>
オフィスアワー	毎週火曜日 13:00～14:30